



命を守る訓練

校長 芝原 にはほ

令和 7 年度がスタートして、一か月半が過ぎました。黄金週間が過ぎ、いわゆる「五月病」を心配しましたが、南界小の 19 人の子ども達と 10 人の先生方は、元気はつらつ、毎日楽しく明るい学校生活を送っています。

さて、新学期が始まり「命を守る学習」が、たくさん行われています。5 月 1 日「交通安全教室」、10 日「引き渡し訓練」、15 日「不審者(校内侵入)対応訓練」をすでに実施しました。



渡り始めは右、真ん中からは左を見て！



点検の合言葉は「ぶたはしゃべるか」

交通安全教室では、全学年が横断歩道の渡り方、3 年生以上は自転車の乗り方について学習しました。本校は、正門前が国道になっており、押しボタン式信号機が設置されています。しかし、野間方面から来ると、若干カーブになっており、信号機に気がつかないドライバーも見受けられます。信号が青になっても、ちゃんと左右を確認しながら横断することを何度も練習しました。自転車では「ぶ=ブレーキ」「た=タイヤ」「は=ハンドル」「し

ゃ=車体」「べる=ベル」「か=鍵」で確認することや左側通行、自転車での横断歩道の渡り方などを模擬道路で学習しました。種子島ではほとんどないそうですが、自転車の盗難は結構多いのです。いずれ、島を離れるときがあるかもしれません。鍵をかける習慣(できれば防犯登録も...)をつけておくとういと思います。また、来年の 4 月からは、自転車でも「青切符」が切られるようになります。対象は 16 歳以上ですが、高校生になってから困らないように、子どものうちから、自転車という「軽車両」を運転しているのだという自覚をもたせる指導をしていきたいと思っています。

東京都立川市の学校で起こった侵入事件には、本当に驚きました。大切な子どもを預かっている学校としてどう対処していけばよいのか考えさせられました。今回の訓練では、警察の方に不審者役をしてもらい、子ども達はどうか逃げ、職員はどうか対応するか訓練しました。1 年生が泣くほど怖がり、かわいそうな気もしましたが、だからこそ、やっておかねばならない訓練です。昨年度の「声かけ事案訓練」でも、今回の侵入訓練でも警察の方から「日頃から、**大きな声で挨拶しておくことが最大の防犯である。**」と教えていただきました。校区内での子ども達の挨拶の様子について、地域のみなさんからも教えていただけるとありがたいです。

今後も、年間を通じて、地震・津波の避難訓練、火災の避難訓練等を実施していきます。不審者対応訓練の時に来てくださったスクールガードの方が子ども達に話してくれました。

「みなさんが持っている物の中で最も大切なのは**命**です。」

本番は、ないに越したことはありませんが、本番のような心構えで臨んだこれらの訓練を生かしていかななくてはと誓いました。



＜4 月の学校生活アンケートから＞
 「いじめられた」と訴えた子はいませんでした。友達同士のやりとりを見ていて、「これってどうなんだろう。」と伝えてくれた子がいました。こういう感覚を大切に、指導していきたいと思っています。